



動物科学・水産科学科

Department of Animal Science and Fisheries Science | 定員 55名

畜産物・水産物の生産と供給、野生動物や海洋生物の生理・生態・利用に関する教育・研究によって、動物・水産資源の安定的な生産と供給を担う人材を養成します。



動物科学コース

定員 35名

教育の特色

人と動物が共生する豊かな地域社会の創造に資する人材の育成を目的とし、産業動物生産(畜産)と野生動物の保護・管理に関する知識および技術に関する教育・研究を基盤として、産業動物を中心に様々な動物種における生理機能の解明、遺伝的改良と増殖、飼料生産と栄養・飼養、および動物資源の有効利用など動物科学に関する総合的な教育を行う。

取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 食品衛生管理者(任用資格) 食品衛生監視員(任用資格)
- 家畜人工授精師(申請資格) 実験動物技術者(受験資格)
- 環境衛生監視員(任用資格) 普及指導員(受験資格)

求める人材像

- 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
- グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

水産システム学コース

定員 20名

教育の特色

三陸沿岸域の水産業の復興、わが国の水産業の成長産業化に寄与できる人材の育成を目的とし、水産業に関わる基礎的な知識や技術に関する教育・研究を基盤として、水産資源の生産(漁獲、増養殖)から、加工、流通にいたる一連のシステムを体系的に教育する。

取得可能な資格等

- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)

求める人材像

- 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人
- 三陸地域の社会と水産業に関心をもち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
- 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心をもち、問題解決に取り組む意欲のある人
- 高い倫理観を持ち、持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

キーワード

畜産とアニマルサイエンス

水産業システムの高度化

主たる教育分野

動物科学コース

家畜飼養学、動物遺伝育種学、動物生殖工学、動物栄養機能学、食肉科学、動物行動学、動物生理学 etc.

水産システム学コース

水産増殖学、水産政策・経済学、水産食品加工学、漁業資源生態学、水族遺伝学 etc.

卒業後の主な進路

食品・医薬品・動物・水産関連企業、畜産・水産関連団体、公務員(畜産・水産職)、大学院進学